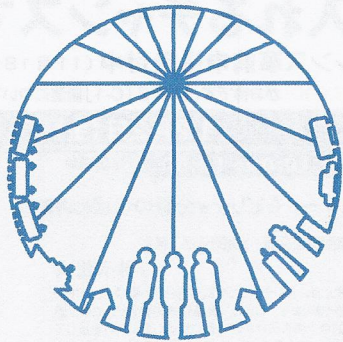




Smart Mobility Asia

次世代の先進 IT 交通都市の創造に向けて

スマートモビリティアジア

2011年11月30日(水)・12月1日(木)・2日(金)
11月30日 10:00~18:00 / 12月1日・2日 10:00~17:00

会場：アクロス福岡 イベントホール 展示会入場料：無料

主催：Smart Mobility Asia 実行委員会

最新の情報・詳細については、Webサイトをご覧ください。

<http://www.smart-mobility-asia.jp/>

検索サイトで

[smart mobility asia](http://www.smart-mobility-asia.jp/)

検索



Smart Mobility Asiaとは

モバイル IT という日本の強みを具現化したショーケースとして、国内はもとよりアジアをはじめとする海外にも近未来のモビリティを情報発信して参ります。また、先進的な IT 交通都市として九州のプランニングに寄与するとともに、関連するベンチャーの育成に関わる様々な企画を展開し、地域経済の活性化を図ります。

開催概要

名称：Smart Mobility Asia (スマートモビリティアジア)
会期：2011年11月30日(水)~12月2日(金)
会場：アクロス福岡 (カンファレンス/展示)
主催：Smart Mobility Asia 実行委員会
実行委員長 安浦 寛人
(九州大学 理事・副学長、(財)福岡県産業・科学技術振興財団 社会システム実証センター長)
●九州大学 ●株式会社産学連携機構九州 ●西日本鉄道株式会社
●九州旅客鉄道株式会社 ●西日本新聞社
後援：九州経済産業局、九州総合通信局、九州運輸局、福岡県、福岡市(予定)
協賛：(財)福岡県産業・科学技術振興財団、(財)九州産業技術センター、(財)九州先端科学技術研究所
(財)福岡アジア都市研究所、(財)九州大学学術研究都市推進機構、(財)北九州産業学術推進機構
一般社団法人情報通信技術委員会(TTC)、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
九州地域組込システム協議会、(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構(予定)
企画：Smart Mobility Asia 企画委員会
構成：企画委員長 神尾 寿 (通信・ITS ジャーナリスト/国際自動車通信技術展企画委員長)
委員 園部 修 (ITmedia +D Mobile 編集長)
委員 三浦 和也 (レスポンス 編集長)
委員 松永 博司 (国際自動車通信技術展運営事務局局長)
アドバイザー 坂本 剛 (産学連携機構九州代表取締役社長)
運営：Smart Mobility Asia 運営事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F (株)ジェイシーレゾナンス内
Phone:03-5565-1642 Fax:03-5565-6909

カンファレンス 聴講方法

聴講料：1 講演 事前申込 3000円 (当日 5000円)

事前申込

事前申込を行うと、1 講演あたり **3,000円(税込)** となりますので、大変お得です。ぜひ、事前申込にて聴講される事をお薦めします。【**11月18日(金)**まで】
公式Webサイトからお申込下さい。

▶ <http://www.smart-mobility-asia.jp/conference/entry>

同日2講演以上の聴講は更にオトクな1日券をお求めください!!

同日に2講演以上の聴講をお申込の方は、その日のカンファレンスをすべて聴講することができる「1日券」がオトクです。事前申込：**1日5,000円(税込)** (当日申込：**8,000円(税込)**) です。事前申込は公式Webサイトからお申込ください。

事前申込終了後、返信されてくるメールに従い、聴講料をお振込ください。銀行振込による入金確認後、聴講券を発行します。Webページに表示された聴講券をプリントアウトし、お名刺とともに各カンファレンス会場受付へお持ち下さい。
※事前登録はお席を保障するものではありません。会場はお早めにお越し下さい。

当日申込

展示会場内 カンファレンス会場までお越しください。
受付にて、聴講料をお支払い頂き、お名刺と引き替えに聴講券をお渡しします。
※先着順とさせていただきますので、満席の場合には何卒ご容赦ください。
※一度に各講演の受付ができます。

カンファレンス会場へ入場する際、聴講券を係へお渡し下さい。
※会場への入場は、開場までにお並びいただいた順での入場となります。

併催企画 スマートチャレンジ2011

7分間で世界を変える!!

審査委員長 林 信行氏 ジャーナリスト
審査委員 孫 泰蔵氏 モビータ ジャパン(株)代表取締役社長 兼 CEO
安浦 寛人氏 九州大学 理事・副学長
神尾 寿氏 ジャーナリスト

スマチャ!!
SMART CHALLENGE 2011

スマートモビリティアジアにて「モバイル」「モビリティ」「IT」分野における「ソフトウェア」「ハードウェア」などについて、7分間のプレゼンテーションで世界の未来を変えるチャンスを探ろう!

11月30日(水) 16:30~18:00 展示会場内カンファレンス会場 観覧無料

モバイル、モビリティ、IT 分野における新たな事業の構想やサービス企画等を個人(学生)またはベンチャー企業が7分間のプレゼンテーションを行います。その中の優秀な方には2012年3月に東京ビッグサイトにて開催される展示会「Mobile IT Asia (モバイルITアジア)」にご招待し、通信関連業界、自動車関連業界などの関係者前でプレゼンテーションを行うチャンスを差し上げる企画です。未来を変えるかもしれない「きっかけ」をあなたも見つけませんか?

スマートチャレンジ2011
応募受付 エントリー募集!!
応募受付 11月11日 まで
7分間で世界を変えるチャンス!! 応募してください!!
応募についての詳細はWebサイトをご確認ください。
▶ <http://www.smart-mobility-asia.jp/smacha/>

アクセス



アクロス福岡

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号 TEL: 092-725-9111 (代表)

お問い合わせ

スマートモビリティアジア 運営事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F (株)ジェイシーレゾナンス 内
TEL: 03-5565-1642 (電話受付時間/月~金 10:00~17:00) / FAX: 03-5565-6909
<http://www.smart-mobility-asia.jp/> E-mail: info@smart-mobility-asia.jp

近未来のモビリティに関する最新情報を手に入れるチャンスです!

事前聴講申込で**お得**に最新情報を手に入れよう!! 公式Webサイトにてカンファレンス事前申込受付中(11月18日(金)まで)

聴講料は1講演につき、**事前 ¥3,000(当日 ¥5,000)**です。同日2講演以上聴講される場合は、一日通券**事前 ¥5,000(当日 ¥8,000)**がお得です。(12/2「C-1」講演については聴講無料)

11月30日(水)

A-1 10:00~10:50 基調講演

所有から共有へ 情報通信技術が生み出す新しい社会へ

Smart Mobility Asia実行委員長
(財)福岡県産業・科学技術振興財団
社会システム実証センター長
九州大学 理事・副学長 **安浦 寛人氏**



過去半世紀の情報通信技術の驚異的な発展は、産業構造から社会基盤まで多くの変化を引き起こしている。それは、所有を基本とした価値体系から共有による持続可能な社会への転換への大きな流れを作っているとも見える。移動手段(Mobility)においてもこの大きな流れが社会の本質的な変化につながっていく。

A-2 11:00~11:50 基調講演

次世代交通都市への
進化を支えるネットワーク

シスコシステムズ合同会社
代表執行役員社長 **平井 康文氏**



利便性と安全性の向上と環境負荷の低減を目指し、都市交通分野へのICT(情報コミュニケーション技術)の活用が急速に進んでいる。次世代の交通都市を実現するには、高度なネットワークインフラストラクチャーの構築と導入が必要不可欠です。本講演では弊社における世界各地での都市開発の事例を中心に、都市開発におけるネットワークインフラの重要性と展望についてお話しさせていただきます。



A-3 12:40~13:30 専門カンファレンス

アジアにおける地域情報化とスマートモビリティ

(財)福岡県産業・科学技術振興財団
社会システム実証センター 副センター長 **石田 浩二氏**



VRICSという社会情報基盤技術のコアに九州大学と地域の研究機関である社会システム実証センターが連携し、実証実験を多数実施してきている。国内では、社会保障サービス、電子マネーとモビリティ、バスといった公共交通機関との連携等々。そして、海外では、バングラーデシュにおいてシステムの展開を図るとともに、日中韓において共通の電子チケットによる旅行全般(移動、買い物、宿泊、観光)のサービスを行う実行計画を立案中である。本講演ではアジアと連携したスマートモビリティにおける地域情報化の紹介と今後の計画について説明を行う。

A-4 13:40~14:30 専門カンファレンス

産学官連携によって創出する
通信サービスのイノベーションとその事業化

PicoCELA(株) 代表取締役 **井上 聡志氏**



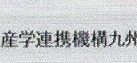
スマートフォンの普及により、携帯端末がリッチ化し、様々なコンテンツが増え、人々のライフスタイルも変革しつつありますが、弊社は、その変革を支える通信インフラを産学官の技術により、低コスト・高品質での実現を目指しています。この事業の中核を担っているコア技術が産学官連携によって創出されたか、それをどのように事業化しようとしているのか。産学官連携推進チャーターの今後の可能性と課題を共有したいと考えています。



A-5 14:40~15:30 専門カンファレンス

地域における大学発ベンチャー
支援ネットワークについて

(株)産学連携機構九州 代表取締役社長 **坂本 剛氏**



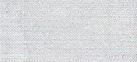
地域で新しい産業を創りだしていくためには、中小企業やベンチャーの果たす役割は重要である。とりわけ、知識集約型社会を目指す日本において、大学の技術を活用し、その事業化を目指す大学発ベンチャーは、地域の活性化、優秀な人材の地域内での活用という点で今後重要度を増すと考えられる。本講演では、福岡地域における大学発ベンチャー支援活動の状況および、それらを支えるヒューマンネットワークについて紹介する。



A-6 15:40~16:30 特別講演

ITベンチャー支援と福岡の可能性

ムービーダジャパン(株) 代表取締役社長 兼 CEO **孫 泰成氏**



新しい産業の創造による日本復興が急務のなか、創意工夫して新しい価値創造に挑戦するベンチャーの育成はきわめて重要である。特にIT分野は画期的なイノベーションが次々に生まれている真っ最中で、非常にチャンスであり、ITベンチャーの育成、支援は未来の日本再生のために有効かつ有望である。そこで、ITベンチャー支援の最新状況と福岡が果たせる可能性について考察する。



12月1日(木)

B-1 10:00~10:50 パネルディスカッション

モバイルIT×福岡



ジャーナリスト **林 信行氏** ジャーナリスト **神尾 寿氏** (株)産学連携機構九州 代表取締役社長 **坂本 剛氏**

モバイルやモビリティ、ITに関する第一人者である3名のジャーナリスト2人と、九州地域における産学連携プロジェクトの中心的役割を果たしている産学連携機構九州の代表者が、ますます注目の集まる「モバイルIT」分野における福岡の優位性や、今後の業界展望について語るパネルディスカッション。

B-2 11:00~11:50 基調講演

大震災からの復興とスマートモビリティ

東京大学 生産技術研究所
先進モビリティ研究センター (ITSセンター)
准教授 **牧野 浩志氏**



東日本大震災という未曾有の災害から私たちは何を学ぶべきだろうか。災害が発生した場合に、人の命を守るためには避難することが大切であり、その後、被災した人々を助けに行くこと、孤立した避難地に支援物資を送ること、生活再建のための物資の搬入など、時々刻々と変化する災害時の対応の中でもモビリティは災害時の重要な部分を担っている。最先端の科学技術を駆使した最先端モビリティと災害の関係について議論したい。

B-3 12:40~13:30 専門カンファレンス

SmartCarのもたらす次世代モビリティの展望

一般社団法人情報通信技術委員 (TTC) 会 スマートカー AG リーダー
沖電気工業(株) 研究開発センタ ビジネスイノベーション推進部
スマートコミュニティ・イノベーションユニットエグゼクティブ・スペシャリスト **千村 保文氏**



近い将来、ネットワーク技術の進化により、自動車などの道路交通手段がネットワークにつながる時代がやってくる。そのような時代の自動車や道路インフラの新たなモビリティサービスの標準化活動についてITUやISO、ETSIなどの国際機関およびTTCやARIBなどの国内動向を紹介し、自動車交通の次世代移動交通情報における役割や新たな可能性について述べる。

B-4 13:40~14:30 専門カンファレンス

スマートフォンの普及がもたらす
ナビゲーションの未来

(株)ナビタイムジャパン 代表取締役社長 **大西 啓介氏**



ナビタイムジャパンは、2000年3月設立以来「ナビゲーションエンジンで世界のデータクスタマダを指す」という志のもと、ユーザーの様々なニーズに対応しながら成長してまいりました。本講演では、ナビタイムジャパンのコアビジネスである「NAVITIME」のこれまでの活動とこれからの展望、また今後スマートフォンが普及する中でナビゲーションサービスに対する期待についてお話しさせていただきます。



B-5 14:40~15:30 専門カンファレンス

nimocaによる地域経済活性化

西日本鉄道(株) ICカード事業部 課長 **奥村 洋介氏**



交通ICカードnimocaでは、バス・電車の交通利用と商業加盟店のお買物利用のデータを把握することが出来る。この利用データと会員の年齢・性別などの属性情報を組み合わせることで、交通事業者・商業加盟店だけでなく利用者にとってメリットがあるサービス・商品を作り出す先進的な交通ICカードnimocaについて解説します。このような仕組みでnimocaは地域経済の発展に貢献していきます。



B-6 15:40~16:30 専門カンファレンス

交通行動の変化とITの寄与
~交通結節点としての駐車場の可能性

パーク24(株) 事業推進本部 技術開発部 部長 **岩淵 泰治氏**



パーク24グループでは現在、時間貸駐車場、パーク&ライド、カーシェアリングなど様々なサービスを展開している。これらのサービスから見える交通手段の多様化の芽をITの進化の観点からデータを交えて紹介する。



12月2日(金)

C-1 10:00~10:50 基調講演

スマートモビリティ分野の現状と将来性

九州経済産業局 地域経済部 部長 **平井 淳生氏**



日本には、エレクトロニクス、ITをはじめ素晴らしい技術が多くあります。しかし、要素技術の強さだけでは、国際競争を勝ち抜けない時代に突入しました。ITを通して人と、人とモノ、モノとモノが直接結びつく社会の中で新しい競争力を得るために、交通・住宅・医療・コンテンツなど様々な分野において、従来の製品分類・産業分類の枠を超えた新しい社会システムを創出する方策について、皆様の活発な議論を期待します。

C-2 11:00~11:50 基調講演

超軽量小型モビリティULVの開発と
本庄スマートエネルギータウンプロジェクトへの実装

早稲田大学 環境総合研究センター 准教授 **小野田 弘士氏**



“地産地消型”のコンセプトに基づき開発を行ってきた超軽量小型モビリティULV(Ultra Lightweight Vehicle)は公道走行が可能な一人乗りのモビリティである。ULVの開発の経緯と実用化に向けた取り組みとその実現に向けた課題について概説する。さらに、埼玉県の本庄スマートエネルギータウンプロジェクトにおいて検討している次世代交通システムのコンセプトとULVの実装に関する最新情報について述べる。

C-3 12:40~13:30 特別対談

モバイルITと、自動車通信のグローバルトレンド

ITmedia +D Mobile 編集長 **三浦 和也氏**



IT業界と、自動車業界を代表するウェブメディアの編集長二人が登場し、それぞれの立ち位置からグローバルプレイヤーの野望をひもとく対談。アジアをはじめ海外に広がっていく自動車メーカーテレマティクスサービス。海外から日本に押し寄せるスマートデバイスの波。この二つの潮流の接点を見いだします。

C-4 13:40~14:30 専門カンファレンス

スマートフォンによる
ナビとゲームの融合

(株)エディア 代表取締役社長 **原 正紀氏**



スマートフォンの出現によって情報機器の世界が大きく変わろうとしています。かつてパソコンの出現によってワープロや高機能電卓がパソコンに取り込まれたのと同じように、ナビやゲームなどがスマートフォンに取り込まれると、これまで別々の進化を遂げてきたものが融合して新しい進化がはじまります。スマートフォンによってナビがどのように進化していくのかを考えてみたいと思います。



C-5 14:40~15:30 専門カンファレンス

サイクルシェアリングの
現状と将来性について

NTTドコモの融合による新たな可能性~
(株)NTTドコモ フロンティアサービス部長 **高木 一裕氏**



環境型交通手段として近年見直されつつある自転車。さらにシェアリング技術、モバイル技術との融合によりより利便性を高めたサービスとしてドコモでは、2010年から札幌、横浜でドコモがこれまでに取り組んできたサイクルシェアリング社会実験の様子、及びそこから得られた結果や課題に関するご紹介。サイクルシェアリングの商用化を推進しております。講演ではドコモが考える普及型モデルなどの将来性についてご紹介いたします。



C-6 15:40~16:30 専門カンファレンス

EVミニカーによるソーシャルモビリティ

(株)リーボ 代表取締役 **松尾 龍馬氏**



EVミニカーは、そのコンパクトさや環境性能、省コスト性といった利点から、必要ときに利用するソーシャルモビリティとして大きな可能性を秘めています。福岡では環境モビリティ都市アイランドシティを中心として実証実験を行い、それに伴って今年度は福岡市・九州大学・株REEVOが中心となり産学官連携組織が設立されるなど、実用化に向けた動きが加速されております。今後の展開として、ITとの連携、他の交通インフラとの共存・相互補完などを課題にあげ、新しい自動車社会のあり方を検討しております。



A-7 11月30日(水) 16:30~18:00 ライトニングトーク スマートチャレンジ2011



モバイル、モビリティ、IT分野における新たな事業の構想やサービス企画等を個人(学生)またはベンチャー企業が7分間のプレゼンテーションを行います。その中の優秀な方には2012年3月に東京ビッグサイトにて開催される展示会「Mobile IT Asia(モバイルITアジア)」にご招待し、通信関連業界、自動車関連業界などの関係者前でプレゼンテーションを行うチャンスを差し上げる企画です。未来を変えるかもしれない「きっかけ」をあなたも見つけませんか?

審査委員長 ジャーナリスト **林 信行氏**

詳しくは <http://www.smart-mobility-asia.jp/smacha/>

講演、タイトル、講師は都合により変更になる場合があります。

その他、スマートモビリティアジアの最新情報やカンファレンスの事前申込などについては、公式Webサイトを参照ください。

検索サイトで **Smart Mobility Asia** 検索